

「誰もが乗れる」ハンザヨットを通して 体験会の開催、アジア初のワールド大会の招致等


 功労者

■ 団体名・氏名

公益財団法人 広島県セーリング連盟

■ URL

<https://www.jsaf.or.jp/hiroshima/>

■ 基本データ

継続年数	17年間
主な連携先	市内特別支援学校、心身障害者福祉センター、障害福祉事業所等
団体の規模等	150名

対象

すべて

活動分野 学習 文化芸術 スポーツ 情報保障 普及啓発 その他

活動の概要

重度障害の方でも帆走できる「ハンザヨット」について、平成19年に全国でいち早く普及活動を始めました。毎月の練習会や体験会の実施、毎年の県内大会の開催等を通じて、障害の有無にかかわらず、ハンザヨットに親しみスポーツを楽しむ機会を創出しています。アジア初の国際大会の広島招致など、活動は国際交流まで広がり、共生社会を目指す姿を世界に発信しています。

■ 活動内容

ハンザヨットは、子供、高齢者、障害者など、誰でも安全に簡単に乗れるよう、転倒防止等の工夫がされた小型ヨットです。広島県セーリング連盟は、広島港に所在する観音マリーナを拠点として、ハンザヨットの普及活動に尽力しています。

現在、障害のある方もない方も一緒に、練習会を月3回程度実施しています。また、体験会を月1回実施し、特別支援学校の生徒や福祉施設入所の方などが参加しています。さらに、県内大会のひろしまピース・カップを毎年開催しています。

ハンザヨットの活動を通じて、障害のある方が何度も練習することで技術を身に付け、大会に参加できるようになり、また、仲間との交流機会や居場所、生きがいそのものに繋がっています。

活動は国際交流まで広がり、平成30年にハンザヨットの国際大会の広島招致、令和4年に2つの国際大会の広島同時開催をアジアで初めて実現し、世界中から障害のある方もない方も集まり、ハンザヨットを通じてスポーツを心から楽しみ、共生社会を目指す姿を世界に発信しています。



写真1

練習風景（出艇前）

■ 活動の経緯・体制

平成19年7月に、重度の障害のある人でもセーリングを楽しみ、競技に参加することができることを目的として活動を開始しました。

その後、多くの企業・団体のご支援のもと、ハンザヨット70艇を保有する日本一のハンザの拠点となっています。

現在、約50名のメンバーが活動、運営の支援を行っています。

■ 活動の工夫・成果

障害のある方のご家族やヘルパーの方々も含め、密に連絡できる体制を作り、お互いを思いやる温かな関係を築いて、安全に無理のないように活動を実施しています。ハード面もバリアフリー化を進め、障害のある方も参加しやすい環境を整備しています。

ハンザヨットの運営を通じて、障害の有無にかかわらずスポーツを心から楽しみ共生社会を目指す取組が、海外からも「広島モデル」と評され模範とされています。



写真2

2024 ひろしまピースカップ